

令和6年度 沼津商業高等学校 第1回学校運営協議会（議事録）

1 日 時 令和6年6月1日（土）午前9時から11時30分まで

2 場 所 沼津商業高等学校 中会議室

3 出席者

会 長	石川 元康	日本大学短期大学部准教授【学識経験者】
副 会 長	齊藤恵美子	福祉施設勤務【地域住民】
委 員	島田 裕介	清水町上徳倉自主防災長【地域住民】
委 員	加藤 力也	清水町立南中学校長【学校運営に資する活動者】
委 員	中口 美香	本校PTA会長【保護者】
委 員	川瀬 典子	清水町教育委員会社会教育課社会教育推進係 【学校運営に資する活動者】

（以上敬称略）

校長（中村）、副校長（野澤）、教頭（青木）、事務長（大塚）、教務課長（木村）、生徒指導課長（實石）、情報ビジネス科長（松井一）

4 内 容

(1) 校長挨拶（別紙）

(2) 出席者自己紹介

(3) 学校運営協議会制度の説明

(4) 会長及び副会長の選任

会長に石川委員、副会長に齊藤委員が選出される。

(5) 本校の学校経営計画（基本方針）の承認及び現況の説明（別紙）

(6) 協議・意見交換

テーマ「本校の強みと課題及び本校へのアドバイスについて」（各委員の発言要旨）

石川委員

沼津商業高校の強みは、地域との連携及び地域貢献にあると感じている。資格の取得も大きな武器であり、大学側としても、資格取得が有利にはたらく入試を実施している現状もある。一方で、カウンセリング等による支援が必要な生徒も多いと聞いたが、大学も同じような状況にある。生徒同士がどう交流するのか、また教職員がどう関わっていくかが大切である。

齊藤委員

沼津商業高校として、資格を取得して卒業することの大切さを積極的に発信していくとよい。厳しかった3年間であったけれども、自分自身の実になったという経験はすごく大切だと思う。

島田委員

地域防災という観点から、有事の際、地域として、高校生の力は本当に必要なものとなる。本人たちが主役になるような訓練をしてほしい。また、今日の文化祭についても、地域へ宣伝していくことで、沼津商業高校の理解につなげてほしい。

加藤委員

沼商生は、授業に真面目に取り組んでいるという印象がある。資格取得に関しても、生徒たちが、将来に向けて明確な目標を持っていると感じている。是非、地元へ貢献することができる人材を育ててほしい。清水町の発展のために活躍してもらいたい。そのために、高校生のうちに基本的なことがきちんとできるようにしてほしい。

中口委員

保護者として、学校に来る機会が少なく、子どもたちの学校での様子が分からない保護者が多いのではないかと。地域連携では、清水町との連携に積極的なのはよく分かったが、沼津市との連携はどうなっているのか知りたい。また、中学生に対して、沼津商業高校に目を向けるような工夫をして、沼津方面から来る生徒を増やしてほしい。

川瀬委員

清水町が沼津商業高校との連携に、ある程度お金を支出していることもあり、しっかりと連携体制ができている。清水町から沼津商業高校へ、「これをやってほしい」という要望が多いのが現状であり、沼津商業高校から、「これをやりたい」ということを積極的に発信してほしい。清水町とか沼津市とか関係なく、郷土愛を育ててほしい。将来、地元に戻ってくるような人材を育成してほしい。

(7) 学校及び紫旆祭・文化の部見学

御挨拶

この春 165 人の新入生が入学し、希望を胸に高校生活を始めています。2 年生は新クラスとなり気持ちも新たに日々の学校生活に取り組んでおり、3 年生は最高学年としての自覚と行動を一層高めており、校内はとても活気づいています。また、先日はクラスの親睦を深めるための遠足等もあり、それぞれが新年度にふさわしいよいスタートを切っています。

入学式、始業式で次の3つを生徒に話しました。

- ・学ぶことを大切する
- ・一つのことに打ち込む
- ・あいさつや掃除をしっかりとこなう、制服をきちんと着る、ルールを守る、などの基本を大切にする

これらは日頃から意識することで主体的に考え行動し、自分を大きく成長させることができると思います。また、このことに加え、「上手に人間関係をつくることにも努めてほしい」と求めました。

相手の立場に立ち、優しい心で接する、これは人間関係を築く第一歩です。お互いに優しさや思いやりをもち、良い雰囲気をつくっていく、そういう中でこそ私たち人間は本来の力が発揮できると思います。

生徒が学んでいる商業科目は、まさによりよい人間関係や信頼関係を築くための学習そのものです。商業の学習をはじめ様々な場面で、よりよい人間関係や信頼関係を築いていこうと努力してほしいと強く思います。

生徒たちは、家庭の子であるとともに、社会の子、時代の子という面があります。まずは子どものことをよく知る努力をし、家庭と地域の方々とともに、将来を担う若者を育てていきたいと思えます。今後とも本校の教育活動に御理解と御協力をお願いいたします。

○教育へのリスペクトを！（県校長会会長 静岡高校 織田校長より）

「教育へのリスペクト」を社会全体で共有し、このことを教育界全体で訴えていかななくてはならないと思います。「教育へのリスペクト」とは教師に敬意をもってもらう、ということではなく、社会全体で教育を大切にしよう、子どもを育てよう、教育にお金をかけよう、ということを通理解しましょう、ということです。

沼商での教育活動や取組みを内外に伝え、「教育へのリスペクト」を広めていきたいと思えます。

○令和6年度の沼津商業高校の主な取組みについて（学校経営計画より）

(1) 授業、ICT 教育の推進

協働的な学びの推進、1人1台端末の利活用、高校生のための学びの基礎診断、スタディ
ーサプリ、Cラーニング等の効果的な活用

(2) 地域と連携・協力した探究活動、課題研究(9講座)による学校の特色化、魅力化

沼商屋(ヌマショップ)の開催、産業祭等の清水町との連携、地元企業との商品開発、観光
ボランティアガイド等 スポーツマネジメント企業との連携

(3) 生徒の進路実現を支える取組

上級資格取得、進路ガイダンス、インターンシップ、課外講座、推薦型入試への対応

(4) 基本的な生活習慣の定着

挨拶、言葉遣い、身だしなみ、清掃、自転車マナー、時間管理、情報リテラシーの育成

(5) ガイドラインに沿った部活動

生徒への適切な休養と学習時間の確保、部費等会計の明瞭化、父母会との良好な関係、
教員の働き方の意識改革

(6) 特別支援・相談活動の充実

困り感を抱える生徒への対応、専門職(スクールリーダー、スクールソーシャルワーカー)の活用、配慮を必要と
する生徒の組織的な情報共有、保護者対応

(7) 新校舎完成に向けての準備

器具・備品の整理・確認、不要物の廃棄、教育課程の実施に向けたシミュレーション

(8) 学校経営予算の適切な執行

事前の計画書等の提出、支出根拠の明確化、水道光熱費の節約

(9)コンプライアンスへの取組み

雰囲気の良い職場環境づくり、良き同僚性を育む研修会等の実施